



淡水魚の簡易養殖キット

琵琶湖固有の淡水魚の養殖試験が行われています。併せて将来的な養殖生産量の拡大を目指し、安価で誰もが参加でき場所を選ばない簡易養殖キットの企画とその実証試験が行われています。昨年の10月にはマキノ北地域の住民の皆さんを対象に集落交流会が開催され、事業者から事業の現状や今後の計画について説明が行われました。現在ビワ

マスを中心に琵琶湖固有の淡水魚の養殖試験が行われています。併せて将来的な養殖生産量の拡大を目指し、安価で誰もが参加でき場所を選ばない簡易養殖キットの企画とその実証試験が行われています。昨年の10月にはマキノ北地域の住民の皆さんを対象に集落交流会が開催され、事業者から事業の現状や今後の計画について説明が行われました。現在ビワ

問

旧マキノ北小学校と旧今津西小学校の現在の状況と今後の展開について



吹田 薫 議員

企業誘致に伴う地域等への波及効果について

## 旧小学校の今後の展開は？

答

生産を拡張するため基盤整備に着手します。

答

農林水産部長

旧マキノ北小学校における琵琶湖淡水魚の養殖事業については、ビワマス、ナマス、ホンモロコを中心として琵琶湖固有の淡水魚の養殖試験が行われています。併せて将来的な養殖生産量の拡大を目指し、安価で誰もが参加でき場所を選ばない簡易養殖キットの企画とその実証試験が行われています。昨年の10月にはマキノ北地域の住民の皆さんを対象に集落交流会が開催され、事業者から事業の現状や今後の計画について説明が行われました。現在ビワ

マスを主体として、養殖が行われておりますが、その成長には採卵から2年から3年が必要となり、流通にはもう少し時間が必要となります。

荷され販売されています。また、本年から、本市のふるさと納税の返礼品に登録

され、返礼品のカタログなどにも掲載をしています。雇用につきましても、市内在住の方が9名雇用され、生産に従事されている他、市内の障がい者福祉施設の方3名が交替で派遣され、仕分け作業等に従事しております。今後は、市民の皆さんに参加いただき、生産を拡張していくための基盤整備に着手していく必要があります。



旧今津西小学校におけるキクラゲ栽培の様子